

鳥インフルエンザの感染拡大を防ぐために

各地で家禽や野鳥の高病原性鳥インフルエンザの感染確認が相次いでいます。鶴居村でもタンチョウの感染が確認されました。村民のみなさんの安全や感染拡大を防ぐために、以下についてお読みください。

❖ 鳥インフルエンザウイルス について

A型インフルエンザウイルスが引き起こす鳥の病気で、「高病原性鳥インフルエンザ」に感染するとその多くが死んでしまいます。感染個体の粉末状になったフンを吸い込んだり、その鳥のフンや内臓に触れるなど、いわゆる濃厚接触をした場合を除いて、通常では人に感染しないと考えられています。

❖ 弱っている、死んでいる野鳥 を見かけたら…

さわらずに教育委員会が役場に連絡してください。ただし、野鳥はさまざまな原因で弱ったり死んだりしますので、ただちに鳥インフルエンザを疑う必要はありません。鳥インフルエンザウイルスへの感染が特に心配される種類はハクチョウをはじめとするカモ類、タンチョウ、フクロウやワシなどの猛禽類、カラスで、鳥インフルエンザの検査対象となる羽数は種類ごとに定められています。くれぐれも冷静なご対応をお願いします。

❖ 野鳥にむやみに えさを与えない

えさやりにより1か所に野鳥が集まると感染が拡大する可能性があります。タンチョウへの給餌は、個体数を維持するために国や北海道から委託された給餌人が実施していますので、個人的に給餌をすることは控えましょう。

❖ 農家のみなさんへ

農場内にはタンチョウをはじめとする野鳥が飛来します。中には家畜のえさ場に飛来することもあるでしょう。海外では少数ですが家畜への感染も確認されています。可能な限り、野鳥との接触を防ぐ対策を実施するに越したことはありません。

- ▶ 農場内に家畜飼料が散らばっている状態をなくしましょう
- ▶ コーンサイレージスタックやバンカーの取り出し口は、使用時以外はシートで覆いましょう
- ▶ 牛の給餌場所をネットで覆うなど、野鳥が侵入できないようにしましょう

鳥インフルエンザに関する情報



環境省の
ページ



北海道の
ページ



厚生労働省の
ページ



農林水産省
のページ

本件に関する問合せ先

- ▶ 教育委員会社会教育課 0154-64-2050
- ▶ 産業振興課林政係 0154-64-2114